



浦安市議会議員(無所属)

柳きいちろう 議会報告

浦安レポート

2021.6 vol.30

安全・安心で快適な環境都市の創造を



Profile

柳きいちろう(本名:柳毅一郎)
 1984年(昭和59年)東京都文京区生まれ
 2002年(平成14年)明治学院高校卒業
 2008年(平成20年)早稲田大学商学部卒業
 2008年(平成20年)株式会社商工組合中央金庫入庫
 2011年(平成23年)浦安市議会議員初当選
 2015年(平成27年)浦安市議会議員再当選(二期目)
 2019年(平成31年)浦安市議会議員再当選(三期目)
 現在、浦安市議会都市経済常任委員会委員長
 議会運営委員会副委員長
 浦安市都市計画審議会委員

新型コロナウイルス感染症の対応に従事しております。様々な職種の皆様にも、もって感謝申し上げます。また市民の皆さまには、新型コロナウイルス感染症対策にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

浦安市議会の議会内改選があり、新たに都市経済常任委員会委員長及び議会運営委員会副委員長(留任)の職を拝命しました。今回は新たに拝命した職責に関連する事柄についてご報告させていただきます。

都市経済常任委員会委員長を拝命

3期目2年が経過し、4年任期の下半期に入りました。浦安市議会では議会内の人事の任期を2年としています。5月の議会内改選により、私は都市経済常任委員会委員長を拝命しました。直前の

2年間は総務常任委員長を務めていた為、引き続き常任委員会の委員長職を務めさせていただきます。

都市経済常任委員会の所管は、以下の様になっております。所管事務の内容としては、市役所一階で市民の皆様と触れる機会が多い市民課から、市内の商工業者向けの経済対策、公園管理そして人目には触れませんが市民生活に無くてはならない下水道といった様に非常に広範囲なものとなっております。

「まずクリーンセンターの延命化事業(ごみ焼却施設)」

先に記したように、都市経済常任委員会として担当する様々な所管事務がありますが、私がまず優先課題と捉えるのはクリーンセンター(ごみ焼却施設)の老朽化にもなう延命化事業です。市行政として重要なものは、普段あつて当たり前と思われるものであり、課題の顕在化や無

都市経済常任委員会 所管する部及び課

部	課
市民経済部	地域振興課、市民参加推進課、市民安全課、市民課、商工観光課、2020 東京オリンピック・パラリンピック推進課、消費生活センター
環境部	環境保全課、ごみゼロ課、環境衛生課、クリーンセンター、ビナスプラザ
都市政策部	都市計画課、建築指導課、住宅課、市街地整備課
都市整備部	道路管理課、道路整備課、地籍調査課、下水道課、みどり公園課

くなつて初めてわかるものだと考えます。

その様な視点で見ると、クリーンセンターの延命化は本当にしっかりと対応すべきことかと云えます。古くは昭和40年代に起きた「東京ごみ戦争」等、ごみ行政は問題が顕在化した場合、大きな問題となる可能性があります。

「財政的にも大きな負担を

今後のごみ処理施設延命化事業経費につきましては、財政負担も少なくなく、関連経費を含め、総額約128億円となります。また、整備スケジュールとしては、令和4年度から7年度までの4か年で焼却施設整備工事を、令和

4年度と5年度の2か年で再資源化施設整備工事を、令和6年度と7年度の2か年で不燃・粗大ごみ処理施設整備工事を行っていきます。

クリーンセンターは、人口約17万人の浦安市の一般廃棄物を一手に引き受けて、365日24時間の稼働でその処理を担う複合施設で今日も浦安市のゴミを処理しております。人目に触れない分、なかなか意識されませんが、本当に重要な施設ですので老朽化に対する対策を着実に行う必要があります。

また当然、クリーンセンターの延命化だけでなく、都市経済常任委員長としてごみ行政全般についても鋭意取り組んで参ります。ゴミの無いきれいな街を造るため市民の皆様からご意見を頂きながら改善を図っていきます。

「ゼロカーボンシティの実現を！」

「世界的な潮流に乗り遅れるな」

もう一つ都市経済常任委員会所管で私が注目しているのは「脱炭素社会」についての取り組みです。

日本は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す

宣言しました。2050年カーボンニュートラルは、我が国が宣言するまでに既に120を超える国と地域が合意しており、気候変動枠組条約第21回締約国会議において採択されたパリ協定に沿って、各国・地域ではカーボンニュートラルの達成に向けた法案の可決、及び実施計画のとりまとめが進められています。

そして、世界的な潮流や枠組みのもと、国だけでなく自治体としても脱炭素を強く意識することが求められます。勿論、市内企業の取り組みも重要なものであり、今後いかに官民で連携していくかは論点となります。

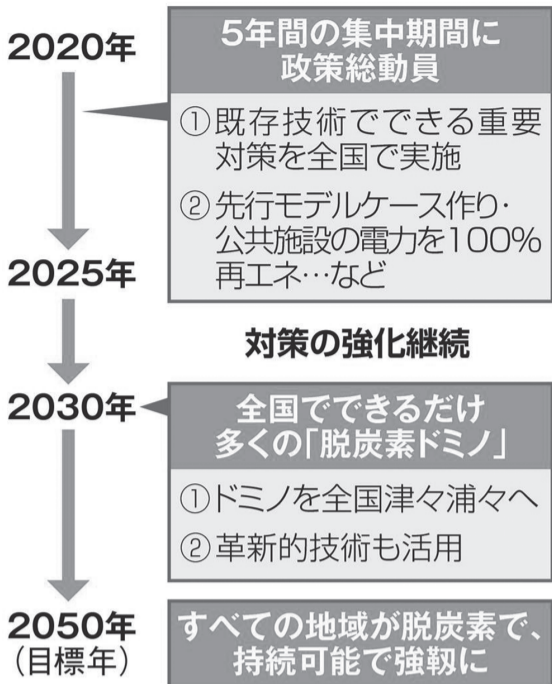
「本市の脱炭素への取り組みについて」

先の3月議会では、都市政策課の都市計画マスタープラン及び、環境保全課の第3次環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画の「脱炭素」に関係する内容について質問を行いました。

まず、都市計画マスタープランについては、都市政策部長より「本市は昨年7月、「低炭素社会」の実現の考え方をさらに進めた「脱炭素社会」の実現に向けて、2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す」「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

これを受け、現在策定中の都市整備・都市計画に関する

政府と自治体が作成する「地域脱炭素ロードマップ」のイメージ



[出典：環境省]

基本的な方針である「都市計画マスタープラン」においても、「環境政策との連携の強化を図りながら、総合的に脱炭素化に取り組んでいくため、「脱炭素」のまちづくり方針を、都市政策・都市整備の各分野のまちづくり方針に横断的に関連付けることとしました。

このうち、「住宅・住環境」や「安全・安心」の分野では、環境面に配慮された良質な住宅ストックを形成する考え方を、「道路・交通」の分野では、環境にやさしい移動・交通手段への転換を促進するため、歩行環境や自転車利用環境の改善や効果的なバスネットワークの検討に取り組む考え方を、また、「水とみどり」の分野では、「二酸化炭素の吸収源となるみどりの創出や保全を図る考え方を示しています。」との答弁でした。

次に第3次環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画については、環境部長より『現在策定中の第3次環境基本計画では、温室効果ガス排出実質ゼロに向け、これまでの「低炭素社会の実現」から「脱炭素社会の実現」を目指す計画として検討を行ってまいりました。』

また、地球温暖化対策実行計画では、市が行う取り組みのほか、産業・家庭・業務など、部門ごとに期待される取り組みを例示し、各主体での省エネ行動、建物・設備の省エネ化、再生可能エネルギーの利用促進策を主な取り組みとして捉えてきたところです。

なお、この実行計画における目標としては、計画年度である令和12(2030)年度までに温室効果ガス排出量を平成25(2013)年度比で30%の削減を目指してまいります。』との答弁でした。

脱炭素社会の実現について

は、中長期的な計画となりまので、しっかりと進捗管理をする必要があります。また本市はCO2を吸収する森林や里山があります。市内で発生したCO2を可能な限り削減したとしても、口にするのは難しいものです。このため、排出量に見合った環境保全投資を行う「カーボンオフセット制度」を活用するなど関係自治体と環境保全に向けて連携、協力する必要があります。

議会運営委員会の副委員長を拝命(留任)しました。

議会運営委員会には、議会を円滑に運営するために設置されています。この度、引き続き議長運営委員会の副委員長の職を拝命(留任)しました。自身としては、浦安市議会が進めている議会改革に一所懸命に取り組んでいく所存です。

現在、浦安市議会は市民の負託に応える議会になるべく、議会基本条例策定に向けて取り組んでおります。本年4月には、議会基本条例等調査・検討特別委員会が開催され、自身が副委員長を務めた小委員会(条例素案作成作業チーム)で議論してきた議会基本条例の素案および報告書が承認されました。今後は素案をもとに、条例

制定に向け、取り組むべき内容や具体的な運用について議論し決定して参ります。

『議会改革』についての議論内容は、正直、市民の皆様にはわかりづらいかもしれません。そして、条例制定の作業は当事者である議員でも難しい仕事だと思えます。私も、条例の素案作成にあたっては試行錯誤して参りました。

しかし、わかりづらさは反比例して、浦安市議会という在り方の『核』を議論しているといえる重要な内容であることは間違いありません。何より浦安市議会のあり方を徹底的に議論してまいりますし、市議会議員にしか出来ない仕事とも言えます。

また議会改革は、一見、市民のみならずの生活に直接に影響を与えないように感じるかと思えます。しかしながら実は『市民の声を聞く広聴』を充実し、『政策立案』に繋げるといった『市民のみならずの暮らしに直結した議会になる為の仕組み』を徹底的に議論してまいります。

そして10年後、20年後の浦安市議会の姿を議会基本条例策定の過程で議論しており、任期が終わってメンバーが入れ替わっても、『政策本位の市民の負託に答える議会』であり続けるための仕組みを作っております。これから

編集後記

一年以上に及ぶ新型コロナウイルスウィルス感染症の影響により、地域経済の停滞や雇用情勢の悪化など浦安市を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。

その一方で、現在ワケチン接種が進むなど、明るい兆しも見えつつあります。

も議論の様子を報告し続けていきたいと思えます。どうか市民のみならずにもこのたびの議会の取り組みをぜひ知っていただきたいと思えます。

市政運営としても、先の見えない時代だからこそ、一步一歩着実に物事を進めることが大切であると思えます。本年は、地に足をつけ、たゆまず進み続けることが大切な一年になるうかと思えます。

明けな夜はなく、今は大変かもしれませんが、市民の皆様とともに市政運営を着実に進めたいという姿勢が必要で、自身としても、新たに与えられた職責を全うして参ります。

最後に、2011年4月に27歳1か月で初当選を賜りまして、本年4月で市議会議員として満10年を迎えさせていただきます。ひとえに浦安市民の皆様のおかげであります。御礼と共に、今後ともご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会派異動のお知らせ

本年4月に「自由民主党・無所属クラブ」に会派異動となりました。政策スタンスや市政運営の方向性が近く、議会改革といった市議会活動や自身の掲げる政策実現をする上で、最善と判断をいたしました。会派の皆様と一緒に浦安のためにしっかりと汗をかいて参ります。



QRコードを読み取るとWEBサイトへ繋がります！

柳きいちろうへの連絡はこちらからお願いいたします。

050-3630-8791

279-0013
浦安市日の出 1-3-3-1203

kiichiro.yanagi@gmail.com